



梅村 勝久 議員

環境センター ごみ処理施設建設用地 選定を問う

問 白紙の意味を確認したい。

答 途中谷の現在地や、一旦決定された宮前坊地先での建設の考えはありません。

問 重要な問題であるので白紙の意味を確認したい。

答 環境部長

途中谷の現在地や、一旦決定された宮前坊地先での建設の考えはありません。

問 諸課題の整理と用地選定は並行して進めることができたのでは。

答 環境部長

まずは課題を整理させていただき、次の候補地でも国県補助金の財源を確保し、また市としての一般財源の確保等、他事業との整理を踏まえ、今後の計画を立てて進めていか

情報開示のあり方を問う。

答 環境部長

建設検討委員会は原則公開であり、市単独で建設する旨の公表やその後も、市議会のご意見を賜りながら取り組み、積極的に情報開示に努めてまいりました。

問 市が認識していた浸水リスクなどの建設予定地の安全性の説明が不足していたのでは。

答 環境部長

防災マップでどういった場所か把握していただけたと考えておりました。

問 前回公募の次点候補地であった保坂区へ白紙決定の説明に行かれたか。

答 環境部長

説明に行ったかということろまでは今記憶しておりません。

問 この環境センター後継施設問題は、ごみ減量や分別の重要性などごみ行政全般に市民の方々の理解と協力が必要であり、積極的な情報開示のなかで市民の総意を反映すべき。

問 これまでの経緯では環境センターごみ処理施設建設を急いでこられたが、3月定例会での否決以来8か月、用地選定の方法さえ示されない。交付金の精算をされたこの機会に諸課題の整理の経緯と今後の整備への取り組みを問う。

答 環境部長

防衛省および環境省の補助金・交付金の取扱い、現在のごみ処理委託先自治体との調整、同じく地元自治会への処理期限延長の要望などの課題対応に注力してきました。

その他の質問

○産業廃棄物処理施設の計画について